

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき  
高梁川流域ゆかりの  
偉人・賢人特集

## ほり わへい 堀 和平

新高見梁川市  
総社市  
早倉島町  
矢掛市  
井原市  
浅原市  
里庄市  
笠岡市

★ かつやく とし  
活躍した年:

1841~1892年

★ かつやく ぶんや  
活躍した分野:

画家

★ ゆかりのある場所など:

倉敷市立美術館  
満谷国四郎



ほりわへい てんぽう ねん りょうがえしょう かいせんとんや さけるい はんばい いとな ごうしょう ほりけ  
堀和平は天保12（1841）年、両替商、回船問屋、酒類の販売などを営む豪商・堀家  
よんなん いま そうじゃしそужья う  
の四男として、今の総社市総社に生まれました。

めいじ はじ かぎょう つ ごおおさか とんや ひら げんりょう ようたん ごぶく しい  
明治の始めごろ、家業を継ぎ、その後大阪に問屋を開きました。原料の洋反や呉服を仕入  
れるため神戸に何度も行き来する中で、外人から油絵の技法を学びました。それまでは水彩  
が えが あぶらえ つよ じたくうら ながやもん かい ほんかくてき  
画を描いていましたが、油絵に強くひかれ、自宅裏の長屋門の2階をアトリエとして本格的  
あぶらえ えが はじ かれ いとこ みつたにくにしろう よしみあさじろう  
に油絵を描き始めました。彼のアトリエには、従兄であった満谷国四郎や、吉富朝次郎など  
かよ おお えいきょう う おも  
がたびたび通い、大きな影響を受けたと思われます。

わへい おかやまけん はや あぶらえ えが はじ おかやまけんようがかい せんくしゃ  
和平は、岡山県でだれよりも早く油絵を描き始め、岡山県洋画界の先駆者といわれており、  
でんとうき ずがら しゃじつせい くわ てんじんぞう そうじゃしりつそужьяしょうがっこうぞう あたた まなざ かん  
伝統的な図柄に写実性を加えた「天神像」（総社市立総社小学校蔵）や温かい眼差しの感じら  
れる「母子像」（倉敷市立美術館所蔵）などは、岡山県洋画史の巻頭を飾る重要な資料といえ  
ます。